

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 18 日 (2004.11.18)

【公開番号】特開 2000-239388 (P2000-239388A)

【公開日】平成 12 年 9 月 5 日 (2000.9.5)

【出願番号】特願 平 11-46370

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 G 77/28

C 0 7 F 7/08

// A 6 1 K 7/00

【F I】

C 0 8 G 77/28

C 0 7 F 7/08 Y

A 6 1 K 7/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 11 月 26 日 (2003.11.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】メルカプト基を有する珪素化合物

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

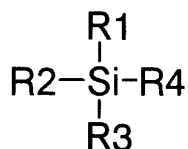
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

下記一般式 (I) に表される部分構造を有する珪素化合物。

【化 1】



一般式 (I)

(但し、式中、R 1、R 2、R 3 及び R 4 はそれぞれ独立に $-\text{O}-\text{Si}$ 、OR 5、R 5 を表し、R 5 はそれぞれ独立に水素原子又はメルカプト基を有していても良い炭素数 1 ~ 4 のアルキル基を表し、且つ、R 1、R 2、R 3 又は R 4 の少なくとも 1 個はメルカプト基を有する炭素数 1 ~ 4 のアルキル基であるものとする。)

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 3

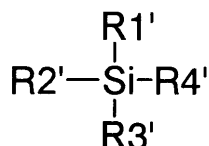
【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

一般式 (II) に表される化合物と一般式 (III) に表される化合物の縮合によって得られたものであることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の珪素化合物。

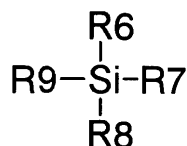
【化 2】



一般式 (I I)

(但し、式中、R 1'、R 2'、R 3'及びR 4'はそれぞれ独立にOH、ハロゲン原子、OR 5'、R 5'を表し、R 5'はそれぞれ独立に水素原子又はメルカプト基を有していても良い炭素数1～4のアルキル基を表し、且つ、R 1'、R 2'、R 3'又はR 4'の少なくとも1個はメルカプト基を有する炭素数1～4のアルキル基であり、且つ、少なくとも1個は炭素数1～4のアルキルオキシ基又はハロゲン原子であるものとする。)

【化 3】



一般式 (I I I)

(但し、式中R 6、R 7、R 8及びR 9はそれぞれ独立に、OH、ハロゲン原子、O-R 10又はR 10を表し、R 10は炭素数1～4のアルキル基を表し、R 6、R 7、R 8及びR 9の内、少なくとも2個は水酸基又はアルキルオキシ基又はハロゲン原子であるものとする。)

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

< 実施例 4 > 実施例 1 の γ -メルカプトプロピルトリメトキシシランをジメトキシメチル- γ -メルカプトプロピルシランに変え、本発明の珪素化合物 3 を得た。実施例 2 と同様の検討を pH 4 で行った結果、珪素化合物 1 と同様に優れたアルブミン吸着能を示した。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

< 実施例 5 > 実施例 1 の γ -メルカプトプロピルトリメトキシシランをエトキシジメチル- γ -メルカプトプロピルシランに変え、本発明の珪素化合物 4 を得た。実施例 2 と同様の検討を pH 4 で行った結果、珪素化合物 1 と同様に優れたアルブミン吸着能を示した。